



グループ会社案内

COMPANY PROFILE



www.chuo-nittochi.co.jp

共に創るからこそ、いい未来。
私たちは、中央日本土地建物グループです。



未来を共創する。
Chuo Nittochi
中央日本土地建物グループ

働く、住まう、憩う、行き交う—。

さまざまな夢や思いを胸に、人はそれぞれの今日を生きています。

オフィスも、住まいも、街も、さまざまな人の夢や思いを支えるものでありたい。

だから私たちは、関わるすべての人びとと意見を交わし、考えぬくことで

人と社会にあたたかい明日を育んでいきます。

共に創るからこそ、いい未来。

私たちは、中央日本土地建物グループです。

グループ企業理念

使命

人と社会に安心と感動を。
ともに考え、ともに創り、ともに未来へ。

伝統と信頼を誇りとし、人と社会に安心を提供します。

期待を超える創造力とチーム力で、感動を生み出します。

あたたかい未来を育むために、ともに考え、ともに創る。

それが、中央日本土地建物グループです。

価値観

「誠実」

「挑戦」

「情熱」

「尊重」

「責任」

これら5つの「価値観」は、
私たちが使命を実現していくために
育むべき企業文化であり、
私たちが未来へ継承していくべきものです。

行動規範

法令やルール等の遵守

公正な企業活動の実践

ステークホルダーの皆様に対する取組

ダイバーシティの推進

秩序ある良き企業風土の醸成

これら5つの「行動規範」は、
私たちの全ての企業活動において守るべき
基本的な行動原則であり、
私たちが常に心掛けていくべきものです。

INDEX

- 01 コーポレートスローガン・ステートメント
- 02 グループ企業理念
- 03 代表メッセージ
- 05 虎ノ門エリア
- 09 注目プロジェクト
- 11 サステナビリティ
- 13 都市開発事業**
- 14 都市開発
- 15 企画・設計

- 19 賃貸事業**
- 20 賃貸・プロパティマネジメント・タウンマネジメント
- 21 住宅事業**
- 22 マスターブランド「BAUS(バウス)」
- 23 分譲マンション・分譲戸建
- 24 賃貸住宅
- 25 マンション管理
- 27 海外事業**
- 28 海外投資

- 29 不動産ソリューション事業**
- 30 CREコンサルティング・仲介・鑑定
- 33 資産運用事業**
- 34 資産運用
- 35 建設事業**
- 36 耐震診断・修繕工事
- 37 ゴルフ事業**
- 38 ゴルフ場運営



8事業の総合力でさらなる価値共創に挑戦します

代表メッセージ

変化の潮流に挑戦し 期待を超える価値を共創していく

中央日本土地建物グループは、ともにみずほフィナンシャルグループに系譜を持つ日本土地建物と中央不動産が2020年4月1日に経営統合して発足した、総合不動産グループです。

両社がそれぞれ創業以来、約70年を有する歴史の中で培ってきた総合不動産会社としての経験、ノウハウをもとに「都市開発」「住宅」「不動産ソリューション」「資産運用」「賃貸」「海外」「建設」「ゴルフ」の8つの事業分野を手掛けています。

現在は、2030年までの長期ビジョン「変化の潮流に挑戦し、期待を超える価値を共創する総合不動産グループ」の実現へ向けて、中期経営計画の2nd-Stage (2024/4 ~ 2027/3)として、事業基盤の強化を図りながら、未来を見据えた新たな挑戦や成長投資に各事業部門で積極的に取り組んでおります。

都市開発および賃貸事業においては、注力する4つの大型開発プロジェクトのうち「TORANOGATE (トラノゲート)」「内幸町」が着工、「淀屋橋ステーションワン」「ミタマチテラス」がそれぞれ竣工フェーズを迎えたほか、オープンノベーションオフィス「SENQ(センク)」、中規模オフィス「REVZO(レブゾ)」シリーズにおける木造・木質化の取り組み、また、物流施設「LOGIWITH」の展開など、時代のニーズを見据えた付加価値の高いワークスペースと最適な管理・運営サービスを提案すべく取り組んでおります。

住宅事業においては、“感動が育つ住まい”をコンセプトとする住宅ブランド「BAUS(バウス)」を中心に、戸建・マンション分譲、賃貸住宅、学生マンションやシニア向け住宅を展開し、高品質かつ安心・快適で、環境にも配慮した住まいを製・販・管一貫体制で提供しております。

不動産ソリューション事業においては、CRE戦略支援、不動産仲介、不動産コンサルティング、不動産鑑定評価を主な事業領域とする「中央日土地ソリューションズ」が、グループの総合力を活用した幅広いソリューションの提供を通じて、お客様の企業価値向上へ向けたサポートに努めております。

資産運用事業においては、当社グループが運用する私募リート「中央日土地プライベートリート投資法人」の運用資産が約1,300億円規模となり、各種の環境認証取得や省エネ設備の導入、グリーンファイナンスの積極活用など、サステナビリティにも配慮した運用を通じて、透明性と質の高い投資機会の提供に取り組んでいます。

建設事業においては、オフィス・住宅分野を中心に新築、修繕・リニューアル工事のほか、設備の更新・メンテナンス、耐震診断をはじめとした各種の調査・診断とその対策工事など、総合不動産会社の建設

中央日本土地建物グループ株式会社
代表取締役社長

三宅 潔

部門として培った安心・安全かつきめ細やかな技術サービスを提供しています。

さらに、海外事業においては、ポートフォリオの多様化と海外市場の成長の取り込みを目的に、北米賃貸住宅を中心とした投資を積極化するほか、ゴルフ事業については、レイクウッドブランドの3コースを通じて、人々の健康増進に貢献し、たくさんの交流と笑顔を生み出すためにホスピタリティの高いサービスの提供に取り組んでおります。

当社グループ全体としては、深刻化する社会課題解決への貢献を新たな価値創造の機会と捉え、2022年4月に「サステナビリティ基本方針」を策定。CO₂排出量削減を中心に脱炭素社会の実現へ向けた取り組みを進めており、TCFD提言に基づく情報開示に取り組むほか、環境省主催の「生物多様性のための30by30アライアンス」にも参画しました。また、「CN TechLab」を設立してDX推進にも積極

的に取り組んでおり、不動産業界での新たな価値創造に挑戦すべく役職員一丸となって取り組んでおります。

気候変動問題や国際情勢の多極化、少子高齢化やAI・デジタル革命などのメガトレンドに加え、金融資本市場動向、物価動向、雇用情勢や賃金動向など、私たちを取り巻く社会・経済環境は、ますます予測が難しく、変化が常態化する時代へと移行しつつあります。このような変化の潮流を見据えながら、今後も当社グループは、社会のあらゆる活動と人々の生活を支える重要な基盤を提供する企業としての責務を自覚し、お客様や地域社会、パートナー会社の方々などあらゆるステークホルダーの皆様とともに「未来を共創する。」総合不動産グループとして、人と社会に安心と感動を提供してまいります。

引き続き皆様の変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

虎ノ門エリア

国際ビジネス交流拠点へ 変貌するまち虎ノ門

近年、虎ノ門エリアは国際的なビジネス交流拠点として進化し、注目を集めています。中央日本土地建物グループは、虎ノ門エリアに本社を構える総合不動産会社として、まちづくりや地域活動など多様な取り組みを通じ、今後も本エリアの発展に寄与し続けていきます。



最新鋭のビジネス施設と 機能が集積する虎ノ門



中央日本土地建物株式会社
執行役員 都市開発事業第一部長
根岸 聖

1974年に竣工した本社「日土地ビル」のある虎ノ門エリアは、当社グループの成長とともにオフィス街として発展を続けています。オープンノベーションオフィス「SENQ霞が関」、中規模オフィス「REVZO虎ノ門」、ワークプレイスのR&D拠点「NAKANIWA」を運営しているほか、2024年1月には「虎ノ門一丁目東地区第一種市街地再開発事業」が着工しました。人々が集い、交流し協業することで、人と企業のさらなる成長を促進し、まちづくりを通じて「世界に誇れる虎ノ門」を目指していきます。そして私たち自身も成長し、未来への創造に貢献していきます。

TORANOGATE (虎ノ門一丁目東地区第一種市街地再開発事業)

新たなランドマークとして、国際ビジネス交流拠点を創造

虎ノ門一丁目東地区第一種市街地再開発事業は、中央日本土地建物グループが参加組合員幹事企業として事業を推進している国家戦略特別区域計画の特定事業に指定されたビッグプロジェクトです。隣接する「東京虎ノ門グローバルスクエア」と一体となった地上・地下の駅前広場を整備し、緑あふれる屋外広場と大階段で接続するなど、駅と街をつなぐ新たな交通結節機能を構築していきます。「OPEN INNOVATION GATE」をコンセプトに、霞が関に近接した立地を活かした官民共創の場として「(仮称)虎ノ門イノベーションセンター」を導入するなど、多様な出会いと閃きを生み出す国際的なビジネス交流拠点を整備し、本エリアの魅力向上に貢献していきます。

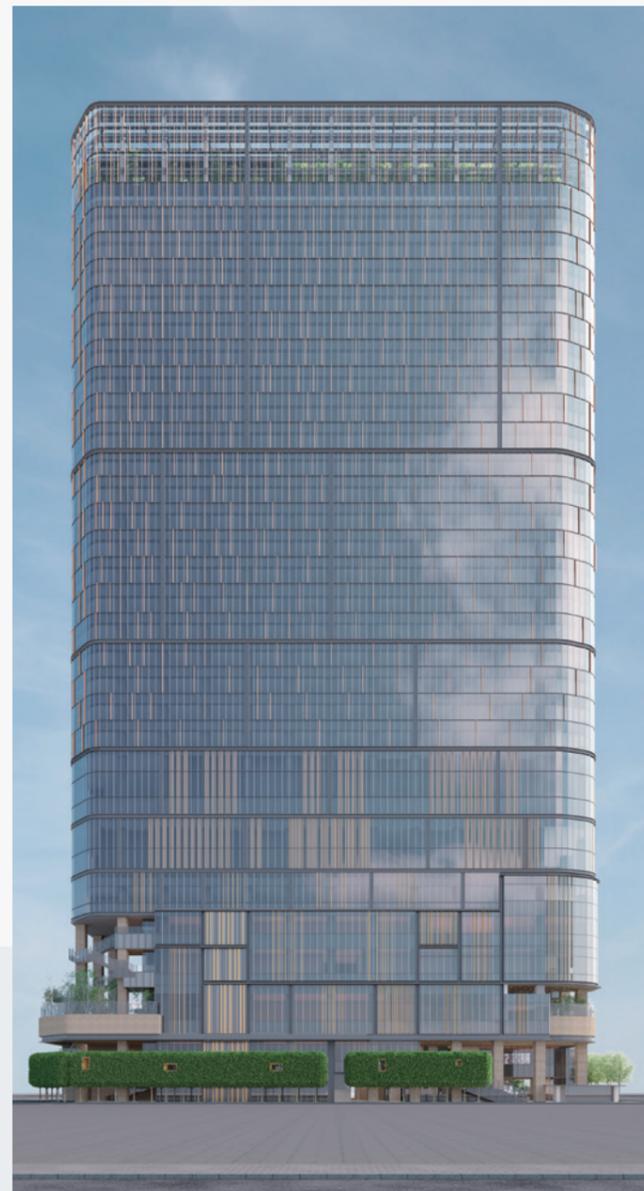


ガーデンテラス

屋上庭園

- 規模 / 地下4階 地上29階
- 延床面積 / 約119,900㎡
- 2027年 竣工(予定)

TORANOGATE
公式サイト



外観

共創型まちづくりで大切なことは 街に対する想いを共有し 事業を推進していくこと



中央日本土地建物株式会社
都市開発事業第一部
虎ノ門一丁目東地区市街地再開発組合事務局長

本山 充秀

本事業のように長期にわたり、多くの関係者が携わる再開発プロジェクトでは、目指す姿を表した「開発ビジョン」と、それを具現化するための判断基軸となる「開発コンセプト」を、開発初期より関係者で共創し策定することが重要です。これは京橋エドグランでの経験から学んだ「ともに創り、ともに育てる」姿勢、考え方を受け継いだものです。策定にあたっては、権利者の皆さまと気軽に意見交換できる環境を整え、対話を重ねることで、街に対する想いと開発による将来の虎ノ門の姿を共有していききました。常にビジョンとコンセプトに立ち返りながら事業を推進し、虎ノ門に関係する多くの皆さまに愛される施設になることを目指します。

「(仮称)虎ノ門イノベーションセンター」の概要

虎ノ門という街の歴史や個性を活かし、国や地方自治体などの「官」と、市民、NPO、NGO、企業、教育研究機関などの「民」がフラットに交流・議論できる場を整備します。官民それぞれが持つノウハウや視点を共有し、社会課題の解決に向けたアイデアを共に考える「共想」、具体的な取り組みを協力して生み出す「共創」、さらに多様な人々が参加し共感の輪を広げる「共奏」を通じて、社会的インパクトのある活動を創出・活性化します。社会活動と経済活動が調和し、分断を超えて融和した「和をなす社会」の実現を目指します。



官民共創による精神に障がいのある方の就労支援に向けたパイロットプロジェクト

(仮称)虎ノ門イノベーションセンターの開設に向けて、官民が一体となって取り組む複数のパイロットプロジェクトを実施しています。その一つとして、一般社団法人官民共創HUBの主催により、精神に障がいのある方の誇りある就労を目指す官民共創型検討プログラムを展開しました。障がい者雇用は量的拡大が進む一方、離職率や待遇格差など質的課題が残っています。本プロジェクトには当事者や企業、行政、支援団体など多様なステークホルダーが参加され、システムデザイン手法を用いた課題構造の可視化を通じ、障がいの有無にかかわらず誇りある就労を実現するための環境や制度の方向性を検討しました。



一般社団法人
官民共創HUB
公式サイト

地域との信頼関係を深めてきたからこそ実現する共創型のまちづくり

本事業の検討がスタートする以前から、虎ノ門エリアに本社機能を置く総合不動産会社として、地域との交流を深め、お互いの信頼関係を醸成してきました。本事業では、2014年に権利者意見交換会を開催し、その翌年には準備組合を設立。2017年には地元企業としての地域貢献や共創型の開発実績などが評価され、当社グループが事業推進パートナー幹事企業として選定されました。権利者の皆さまはもちろん、周辺の関係者、行政などとともに「交通インフラや賑わい空間などの都市基盤整備」「国際競争力向上に資する都市機能の拡充」「安心・安全・環境に配慮したまちづくり」を推進しています。



「西久保八幡神社虎ノ門一丁目琴平町会祭礼」に参加



権利者の皆さまとの意見交換

100年先の街の将来像を想像しながら再開発を推進

本事業を通じて虎ノ門エリアにどのような貢献ができるか、100年先の街の将来像を想像しながら施設計画を検討しています。2017年より権利者の皆さまと気軽に意見交換する場を設け、建築の専門家やクリエイターなどにも参画いただき、創りたい街、目指すべき街のあり方やイメージを関係者全員で共有しながら、議論を進めています。これまでの経験を活かし、権利者の皆さまとともに、新しい時代のまちづくりに挑戦しています。



設計計画ミーティング

注目プロジェクト

内幸町一丁目街区南地区第一種市街地再開発事業

東京都千代田区



本事業は「(仮称)内幸町一丁目街区開発プロジェクト」の事業構想である「TOKYO CROSS PARK構想」のうち「(仮称)サウスタワー棟」にかかる再開発事業です。街区全体は北地区・中地区・南地区で構成され、都心最大級の延床面積約110万㎡を開発し、約16haの日比谷公園とつながります。南地区では、オフィスや商業施設、ホテル、ウェルネス促進施設を備え、まちづくりの一翼を担います。

- 規模 / 地下3階 地上46階
- 延床面積 / 約290,000㎡
- 2029年 南地区竣工(予定)

(2025年3月時点)

淀屋橋ステーションワン

大阪府大阪市



中央日本土地建物が所有する「日土地淀屋橋ビル」と京阪ホールディングスが所有する「京阪御堂筋ビル」を共同で建て替え、エリア最高となる建物高さ約150mのランドマークビルを開発します。熱負荷の低減や調光制御、排熱利用のほか、建物内のVOID空間(吹き抜け)を活用した自然換気システムなど、さまざまな省CO₂技術を導入する計画です。

- 規模 / 地下3階 地上31階
- 延床面積 / 約72,850㎡
- 2025年 竣工

ミタマチテラス

東京都港区



都営地下鉄「三田」駅直結、JR各線「田町」駅徒歩2分のオフィスビル開発プロジェクト。施設利用者の利便性向上のためのデジタルプラットフォーム構築と、環境配慮を重視するテナント企業さまのニーズに応える仕様とし、ZEB-ReadyおよびCASBEE-SWOを取得しました。

- 規模 / 地下3階 地上20階
- 延床面積 / 約55,500㎡
- 2025年 竣工(予定)

中央日土地博多駅前ビル

福岡県福岡市



従前建物の地下から地上2階までの躯体を再利用する環境配慮型の免震オフィスビル計画です。従来の建て替えと比較し解体時52%、新築時37%のCO₂を削減するほか、中3階に中間免震層を設け、既存躯体の再利用と災害対策を両立させました。太陽光発電設備により年間約4.5tのCO₂排出を削減するほか、非化石証書による再生可能エネルギー由来の電力を導入します。イベントにも対応可能な屋根付きの広場やシェアサイクルポートの設置により博多駅周辺の賑わい創出や回遊性向上を目指すほか、四季折々の樹木やパブリックアート、ベンチの配置などによって憩いの場を創出します。福岡市が創設したインセンティブ制度「博多コネクティッドボーナス」の認定を受けています。

- 規模 / 地下2階 地上13階
- 延床面積 / 約13,000㎡
- 2025年 竣工(予定)

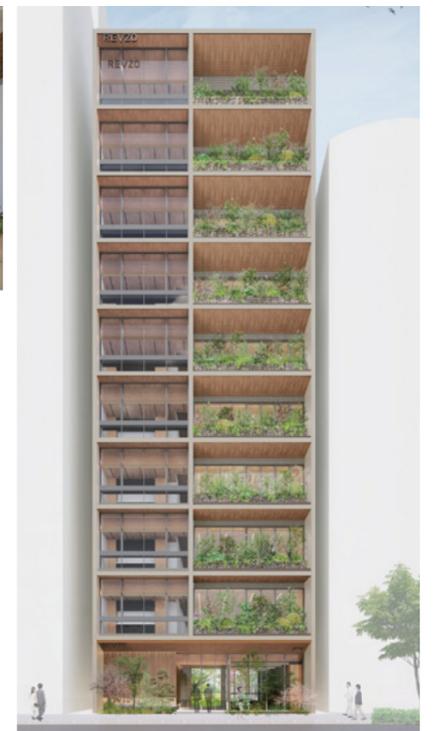
REVZO新橋

東京都港区



中規模オフィスビル「REVZO」シリーズの第5弾となる本事業は、当社グループ初の木造化・木質化オフィスビル計画です。木材使用量は約118㎡を予定しており、森林の持続可能性に配慮された国産木材を積極的に使用します。REVZOの特徴である開閉可能な窓や植栽豊かなバルコニーに加え、建物の柱・天井・内外装などに木材を使用し、木の柔らかさ、あたたかみを感じられるオフィス空間とします。また、一部の柱には、当社グループが所有する山中湖の山林に自生するカラマツを使用。保有林の適切な伐採により森林下部へ太陽光を届け、幼木の生育を促すとともに生物多様性を育みます。働く「人」や「環境」を重視した新たなワークスペースの価値創出とオフィス開発における脱炭素社会への貢献に挑戦します。

- 規模 / 地上10階
- 延床面積 / 約2,600㎡
- 2026年 竣工(予定)



サステナビリティ

中央日本土地建物グループは「サステナビリティビジョン」と5つの「マテリアリティ」から構成される「サステナビリティ基本方針」を策定し、「あらゆるステークホルダーの皆さまとの共創により、人と社会に安心と感動を提供すること」を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



自然環境との共生



社会構造の変化や
ライフスタイルの
多様化への対応



オープンイノベーション
とDXの推進



ダイバーシティ&
インクルージョンの
推進



ガバナンス・
コンプライアンスの
徹底

取り組み事例

TCFD提言に基づく情報開示

気候変動問題をより深刻な社会課題と認識し、その課題解決に向けた取り組みを一層推進するため、TCFDが提唱する情報開示フレームワークに基づき、ガバナンス、戦略、リスク管理、指標と目標に関する情報を当社コーポレートサイトに開示しています。

ワークプレイスのR&D拠点「NAKANIWA」の開設

「ワークスペース」「人」「環境」の3つの軸で、オフィスのあり方をハード・ソフト面から研究するR&D拠点「NAKANIWA」を2023年に開設しました。自然とのつながりを感じるバイオフィリックデザインを採用し、保有林の間伐材を使用した居心地の良い空間設計とウェルビーイングを向上させるソフトコンテンツを導入しています。社員向けのワークショップやイベントなども開催し、施設利用を通じて得られた検証結果を、今後のオフィス開発やサービスのブラッシュアップ、人的資本経営、サステナビリティ経営の促進に活用します。



Column

ブランドムービー『自然と共生する』篇を公開

当社グループ社員のサステナブルなまちづくりへの取り組み姿勢、想いを表現した動画を公開しています。



「生物多様性豊かな“湘南平塚ゆるぎ 里地里山”」 自然共生サイト認定および 「30by30アライアンス」^{※1} 参画

神奈川県内に保有する「生物多様性豊かな“湘南平塚ゆるぎ 里地里山”」が、環境省の「自然共生サイト」に認定されました。里地里山や湿地の環境改善および復元整備などに「産・官・学・民」一体となって取り組む体制などが評価されたものです。環境省が主催する「生物多様性のための30by30アライアンス」にも参画しています。



※1 環境省が主催する「30by30」の国内達成に向け各種施策を実効的に進めていくための有志連合。

「CN TechLab」発足とDX推進

テクノロジー活用による既存事業強化や新サービス創出を目的に、2023年に「CN TechLab(シーエヌ・テックラボ)」を発足しました。活動の一例として、SCSK株式会社の「ZEBIT」を既存のオフィスビルに導入し、エネルギーデータの自動取得・可視化を実施。また、「WealthPark」「RXR Realty」「Arden Group」とパートナーシップ契約を締結し、DX人材の育成や、各社知見やネットワークを活用した事業提携に取り組んでいます。



脱炭素の取り組み

達成年	2030年	2050年
Scope 1・2	2021年度比 ▲50%	ネットゼロ
Scope 3	2021年度比 ▲25%	ネットゼロ

脱炭素社会の実現に向け、サプライチェーン全体でのGXマネジメントに取り組んでいます。その一つとして、Scope1・2のGHG(温室効果ガス)排出量を2030年度までに50%削減^{※2}、Scope3^{※3}を2030年度までに25%削減^{※2}、全体排出量を2050年度までにネットゼロを目標に、達成に向けたアクションプランを着実に実行しています。

※2 2021年度比。
※3 カテゴリ1および11。

テナント満足度と快適性の向上



オフィステナントの皆さまを対象にアンケート調査を定期的実施しています。調査結果は物件の運営管理改善に活かし、継続的なテナント満足度の向上を図っています。また快適性向上を目的に、共用部のリニューアル工事や規模、築年数、管理体制などビルの特性に即した対応を実施しています。

安心・安全の提供



防災設備の導入や耐震補強、予防保全施策など保有・開発物件への災害対策を進めています。京橋エドグランでは帰宅困難者一時滞在施設として、災害時に帰宅困難者を最大3日間受け入れられるスペースと各種備蓄品を確保するほか、被災状況や公共交通機関などの情報を提供します。

再生可能エネルギーの導入



当社グループ保有ビル^{※4}における再生可能エネルギー由来の電力利用率を、2030年度までに50%以上とすることを目標に掲げ、追加性のある電力(生グリーン電力)の導入や、非化石証書による実質再生可能エネルギー由来の電力への切り替えなどに取り組んでいます。

※4 中央日本土地建物(省エネ法報告対象事業所)が保有する不動産。

コミュニティの活性化支援



京橋エリアにおける町会主催の盆踊りの企画・運営支援、当社グループ保有物件の周辺エリアにおける地域祭礼への参画をはじめ、SENQ入居者さまとの清掃活動の実施や、BAUS入居者さま同士の交流イベント開催など、地域コミュニティの形成・活性化に貢献しています。

多様な人材の活躍推進



「グループ総合力」「プロフェッショナル人材」「リーダーシップ」を軸とした人材マネジメントに力を入れており、多様な人材が活躍できる集団づくりに取り組んでいます。また、女性が長期間にわたり、安心して継続就業、活躍できる職場環境の整備に向けて行動計画を策定しています。

環境不動産を評価するラベリング 「DBJ Green Building認証」の取得



「環境・社会への配慮」がなされた不動産を5段階で格付けする「DBJ Green Building認証」。当社グループはこれまで計32物件の認証(CNPR運用物件含む)を取得。「京橋エドグラン」および「ミタマチテラス」においては最高位評価(5つ星)を取得しています。

多様化する ライフスタイルへの対応



少子高齢化などの社会動向を捉え、首都圏を中心にシニア向け住宅の開発に取り組んでおり、一部の物件では地域コミュニティの醸成や、災害発生時に一時避難場所として活用できる広場を設けています。また、米国においてもシニアレジデンス開発に参画しています。

ワークライフバランスの向上



社員のワークライフバランスの向上をサポートし、いきいきと働くことのできる職場風土の実現に向けて、オフィス環境や働き方の整備、健康増進イベントの開催などに取り組んでいます。2023年から3年連続で、経済産業省の「健康経営優良法人(大規模法人部門)」の認定を受けています。

その他の取り組みはグループサイトでご覧いただけます。



都市開発事業



人と社会の豊かな未来を創造する
ともに考え、ともに育てる
共創型のまちづくり

— 都市開発



まちづくりの使命は「京橋に新たな賑わいを」
約15年間にわたる権利者の皆さまとの「共創型再開発」

京橋エドグランでは、特定業務代行者の代表企業として、再開発事業にかかる合意形成をはじめ、施設計画や運営・管理、将来の街のあり方など、権利者の皆さまとの対話を積み重ね、行政、設計者・施工会社などと連携しながら、約15年間にわたり共創型の再開発を進めてきました。私たちが特に重視したのは、京橋エリアの過去から将来の姿まで、お互いの想いを一つにすることです。新たな賑わいを創出するため、権利者の皆さまを含めた関係者で「まちづくりのコンセプト」をともに考え、共有し、全員の想いを一つにして事業に取り組みました。

老舗と新規店舗の融合と開放的な空間設計で
京橋を「訪れたい街」へ

本計画は「八重洲」「銀座」「日本橋」の3エリアとの連携を視野に、東京駅東口エリアのリーディングプロジェクトと位置づけ、働きやすく、賑わいがあり、安心・安全を兼ね備えた『東京で、いちばん心地の良い居場所がある街』を目指し、「根ざし、育ち、実を結ぶ。Like A Big Tree」を開発コンセプトとしました。高さ31mのガレリア空間には、京橋の伝統を受け継ぐ老舗と新たな京橋の顔となる店舗を配し、マルシェや音楽ライブの開催などを通じて、継続的な賑わいを創出しています。また中央区と連携した観光情報の発信や、観光バスの受け入れなど「観光のハブ」の役割も担い、東京のPRと発展に寄与しています。

地域の方々と
想いを共有するまちづくり
都市の未来を
「ともに創り、ともに育てる」

中央日本土地建物
プロジェクト開発部
伊藤 慎吾

KYOBASHI EDOGRAND



企画・設計



時代の変化と向き合い
新たな発想をプラス
期待を超える
新しい価値を創出

中央日本土地建物
設計・技術部

松村 あづさ

中央日本土地建物
投資開発部

常名 慶一郎

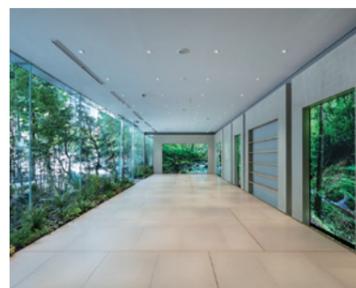
時代の変化に応える中規模オフィスプロジェクト 多様化が進む働き方に対応したオフィスビルへの挑戦

働き方が多様化するなかで、企業やオフィスワーカーのニーズの変化を感じ、新しいオフィスビルのあり方を検討するべく「REVZO」プロジェクトを立ち上げました。「はたらく」を解き放つ」をコンセプトに掲げ、「REVZO」が新たに提供する6つの価値として「自由に」「健やかに」「知的に」「快適に」「上質に」「安全に」を設定。オフィスワーカーが思いのまま自由に、心身ともに健やかに創造的に働けるよう、コンセプトと6つの価値を体現するデザイン、機能をオフィスビル内に実装しました。

「REVZO」が目指したのは 人が気持ちよく働ける場所

「REVZO」の貸室は、オフィスワーカーがそれぞれのワークスタイルに合わせて“気持ちよく働ける場所”となり、企業としての個性も発揮できるよう、レイアウトや内装を自由にデザインできるスケルトン仕様とし、ゆとりある天井高も確保。各階の開閉可能なガラス窓とバルコニーは、オフィスにしながら、光・風・緑を感じることができ、ラウンジは打ち合わせや休憩、イベントなど多様な用途で使うことができます。働く人の心身の健やかさを保ち、人と人との交流を促すワークプレイスを目指しました。また、エントランスに設置した大画面デジタルスクリーンには、建物内の家具や内装材に由来する地域の四季の景色や、職人の作業風景を映し出すことで、創造性や好奇心を誘発し、五感を魅了する空間を創出しました。

REVZO



BRAND

オープンイノベーションオフィス

SENQ(センク)

ベンチャー、スタートアップ、企業内イノベーター、経営者、クリエイター、エンジニア、大学、研究機関、地方公共団体など、多様な業界から日本を動かす先駆者が集まり、オープンイノベーションを加速させる協業と共創の場です。



SENQ京橋

- 所在地／東京都中央区京橋二丁目2-1
京橋エドグラン3～4階
- テーマ／FOOD INNOVATION

SENQ青山

- 所在地／東京都港区南青山一丁目2-6
ラティス青山スクエア2階
- テーマ／CREATOR'S VILLAGE

SENQ青山並木通り

- 所在地／東京都港区南青山二丁目11-17
第一法規本社ビル3階
- テーマ／BUILD NEXT CULTURES

SENQ霞が関

- 所在地／東京都千代田区霞が関一丁目4-1
日土地ビル2階
- テーマ／LEAD JAPAN

SENQ六本木

- 所在地／東京都港区六本木七丁目15-7
新六本木ビル5～9階
- テーマ／CHANGE THE THEORY

SENQ目黒

- 所在地／東京都品川区上大崎三丁目2-1
目黒センタービル8階
- テーマ／ADVANCED LIFE STYLE

SENQ淀屋橋

- 所在地／大阪市中央区北浜三丁目6-22
淀屋橋ステーションワン10F・11F
- テーマ／BRIDGE OVER

(2025年7月開業予定)

SENQ田町

- 所在地／東京都港区芝五丁目34-2
ミタマチテラス4F
- テーマ／GROWTH PORT

(2025年10月開業予定)

中規模オフィス

REVZO(レブゾ)

“「はたらく」を解き放つ”をテーマに、オフィスワーカーが自分らしく、いきいきと働ける環境を実現するために立ち上げたオフィスブランド。「開閉可能なガラス窓」「緑あふれるバルコニー」「ラウンジ」など、オフィスにしながら光・風・緑を感じられる空間を提供します。

REVZO

REVZO虎ノ門

- 所在地／東京都港区西新橋一丁目8-1
- 交通／東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅 徒歩3分 他

REVZO日本橋堀留町

- 所在地／東京都中央区日本橋堀留町一丁目10-13
- 交通／東京メトロ日比谷線「小伝馬町」駅 徒歩4分 他

REVZO麹町

- 所在地／東京都千代田区麹町三丁目2-8
- 交通／東京メトロ有楽町線「麹町」駅 徒歩1分
東京メトロ半蔵門線「半蔵門」駅 徒歩4分

(2025年竣工予定)

REVZO新橋

- 所在地／東京都港区西新橋一丁目
- 交通／都営三田線「内幸町」駅 徒歩2分
JR各線「新橋」駅 徒歩5分 他

(2026年竣工予定)



物流施設

LOGIWITH(ロジウィス)

施設を利用される企業さまのニーズに寄り添った施設計画・運用により、商品を「送る人、届ける人、受ける人」の三方良しの施設を展開します。

LOGIWITH

LOGIWITH八王子(東京都八王子市)

- 延床面積／約25,200㎡
- 竣工年／2024年

LOGIWITH厚木(神奈川県厚木市)

- 延床面積／約26,700㎡
- 竣工年／2023年

LOGIWITH綾瀬(神奈川県綾瀬市)

- 延床面積／約7,300㎡
- 竣工年／2026年(予定)



副都心開発計画および民間による再開発事業の先駆け

大崎エリア

明治以降、日本の第二次産業を担う工業地帯として発展してきた大崎を、“人が住み、働き、集う機能を供給できる街”へと進化させるべく始まった品川区・大崎駅周辺地域(約60ha)の大規模再開発。1987年完成の「大崎ニューシティ」などさまざまな代表プロジェクトを手掛けてきました。

大崎ニューシティ

[大崎駅東口第1地区第一種市街地再開発事業]



- 延床面積 / 新大崎勤業ビルディング:約23,800㎡
- 竣工年 / 1987年

ゲートシティ大崎

[大崎駅東口第2地区第一種市街地再開発事業]



- 延床面積 / 約291,800㎡ [ゲートシティ大崎全体]
- 竣工年 / 1999年

大崎ウィズシティ

[大崎駅西口南地区第一種市街地再開発事業]



- 延床面積 / 約58,500㎡ [大崎ウィズシティ全体]
- 竣工年 / 2014年

パークシティ大崎

[北品川五丁目第1地区第一種市街地再開発事業]



- 延床面積 / 大崎プライトタワー:約91,900㎡ 大崎プライトコア:約44,700㎡
- 竣工年 / 2015年

多様なまちづくりの実績

京橋エドグラン

[京橋二丁目西地区第一種市街地再開発事業]



- 延床面積 / 約113,400㎡ ※歴史的建造物含まず
- 竣工年 / 2016年 ※歴史的建造物は2015年

東京虎ノ門グローバルスクエア

[虎ノ門駅前地区第一種市街地再開発事業]



- 延床面積 / 約47,000㎡
- 竣工年 / 2020年

霞が関コモンゲート

[霞が関三丁目南地区第一種市街地再開発事業・中央合同庁舎第7号館整備等事業]



- 延床面積 / 約108,700㎡(西館)
- 竣工年 / 2007年

「OAZO」とともに開発・竣工したインテリジェンスオフィスビル

丸の内エリア

日本経済・金融の中心地、丸の内エリア。1984年に竣工した「丸の内センタービルディング」のほか、2004年には丸の内オアゾとともに開発・竣工した「新丸の内センタービルディング」も手掛け、丸の内エリアの多機能都市としての飛躍の一翼を担いました。

丸の内センタービルディング



- 延床面積 / 約64,100㎡
- 竣工年 / 1984年

新丸の内センタービルディング



- 延床面積 / 約45,600㎡
- 竣工年 / 2004年

新宿オークシティ

[西新宿六丁目南地区第一種市街地再開発事業]



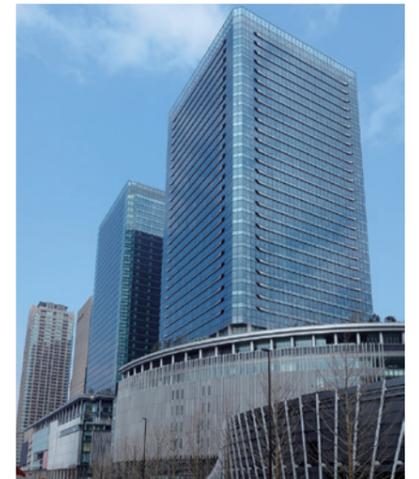
- 延床面積 / 日土地西新宿ビル:約38,400㎡
- 竣工年 / 2002年

仙台ファーストタワー



- 延床面積 / 約29,300㎡(商業棟含む)
- 竣工年 / 2007年

グランフロント大阪



- 延床面積 / 約188,000㎡ [南館全体] 約295,500㎡ [北館全体]
- 竣工年 / 2013年

賃貸事業



京橋エドグラン

質の高い運営力で
安心・安全・快適な空間の提供
「働き方」をもっと豊かにする
最適なオフィスを提案

— 賃貸・プロパティマネジメント・タウンマネジメント



多様な働き方に対応した
ワークプレイス提案と
確かな保守管理・運営

中央日本土地建物
賃貸事業第一部
村野 歩美

中央日本土地建物
目黒営業所
山口 研

中央日本土地建物
ビル営業部
三浦 華蓮

グループの専門性を最大限に活用 お客さまのニーズに即した最適なオフィスを提供

私たちは、グループ各社と連携しお客さまの移転プロジェクトをサポートします。例えば分散したオフィスを集約したいというニーズをお持ちのお客さまが重視されたのは、①社員間のコミュニケーションの活性化、②お取引先をおもてなしできる応接室の拡充、③好立地・ハイグレードビルに本社を構えることによる企業イメージ向上とリクルート力の強化、というものでした。テストレイアウトを何度もブラッシュアップしながら約1年間にわたって提案を実施。お客さまに「ニーズを満たした移転が実現できる」という安心感を持っていただけるよう、新本社で働くイメージを明確にしながらプロジェクトを進め、当社グループのオフィスビルへの移転が実現しました。



建物の開発段階から運営管理体制を構築 地域の皆さまとエリアの魅力向上へ

私たちのプロパティマネジメントの特徴の一つは、竣工後のスムーズな施設稼働を見据え、建物の開発段階から運営・管理に携わる関係者が一体となって施設計画や運営管理体制の構築に取り組んでいることです。稼働後は各分野のプロフェッショナルが集まり、建物・設備を点検する、通称「キャラバン」を定期的に行います。その結果に基づき、修繕や補強工事などを計画・実施します。また、イベントや地域清掃活動の企画・開催など、地域の皆さまと協力しながらエリアの魅力向上と活性化に向けたタウンマネジメントを推進しています。



住宅事業



住む人の人生に
寄り添いつづける
「感動が育つ住まい。」を

— マスターブランド「BAUS(ハウス)」



毎日を自分らしく
よりよく生きるための
住まい「BAUS」

住む人の人生に寄り添いながら
理想の住まいを追求し続ける

60年超の歴史を持つ中央日本土地建物グループの住宅事業。住む人が毎日を自分らしく、より豊かに暮らすための住まいを目指し、2016年に「BAUS」を立ち上げました。ブランド名は住む人にとって一番大切な「暮らしの基盤となる場(Basis for us)」に由来し、ドイツ語で建築・構造を意味する「BAU」にも着想を得ています。住まいには安全性や機能性はもちろん、快適性やデザイン性も求められることから、お客さまの声に耳を傾け寄り添いながら、住み始めた時の感動が色褪せることなく育っていく住まいを提案します。社員一人ひとりが「BAUS」に込められた想いとこだわりを共有し、より良い住まいづくりに取り組んでいます。

BAUSが大切にしている3つの価値
普遍×革新×ソーシャルグッド

私たちは「感動が育つ住まい。」を実現するために「普遍」「革新」「ソーシャルグッド」の3つの価値を大切にしています。エリア内で付加価値の高い住まい(エリアプレミアム)を目指すため、周囲の街並みや調和を重視したデザイン、本質的で普遍的な品質や機能を目指します。開発するすべての物件で「BAUS+one^{※1}」を実践し、BAUSブランド独自の革新的かつ新たなスタンダードの創造に挑戦しています。また、暮らしと社会にプラスの効果を生み出すために、環境への配慮や居住者同士のコミュニティ形成を意識した住まいづくりを心掛けています。

※1 各物件で1つ以上の新たな取り組みに挑戦すること。

感動が育つ住まい。
BAUS



分譲マンション・分譲戸建



暮らすほどに
感動が育つ
心地よく暮らせる
住まいづくり

中央日本土地建物
住宅営業部
宮嶋 敬太

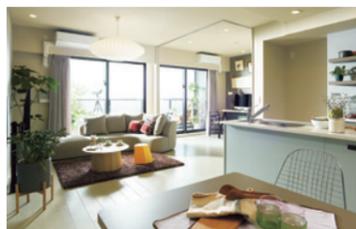
中央日本土地建物
住宅事業推進部
西元 梨沙

分譲マンション **BAUS**

分譲戸建 **BAUS GARDEN**

理想のプランを追求 住まいづくりのノウハウを反映したマンション

分譲マンション「BAUS」は、私たちが長年にわたる住まいづくりを通じて培ってきたノウハウを随所に反映させながら、住む人の心地よさと安心を最優先にプランニングしています。使いやすさと美しさにこだわった設備・仕様、プライバシーや防犯性を保ちつつ風や光を十分に取り込む窓配置、さらにその街が持つ魅力や歴史にも着想を得ながら、建物のデザインや植栽計画にもこだわっています。住む人が誇りを持ち、安心・安全に暮らすことのできる確かな品質のマンションを提供しています。



上質でゆとりある住空間と 街並みとの調和を迫及した付加価値の高い分譲戸建

戸建住宅ブランド「バウスガーデン」は、美しい街並みを形成することにより、そのエリア全体の価値が高まるような住まいとなることを目指しています。時の経過とともに成熟し付加価値が生まれるよう、外構計画には特にこだわり、建物は1棟1棟、表情を変えながら気品ある街並みを創出。十分な採光・通風を確保することはもちろん、ゆとりある上質な暮らしを実現するため、収納や生活動線などにも配慮し、住空間全体にこだわってプランニングしています。



賃貸住宅



暮らす人の
ニーズに応え
ライフステージに
フィットする賃貸住宅

中央日本土地建物
住宅営業部
増田 瑞穂

中央日本土地建物
住宅事業推進部
能勢 暁人

賃貸住宅 **BAUS STAGE**

賃貸住宅 **BAUS FLATS**

学生
レジデンス **BAUS CROSS**

ライフステージにフィットする「住み心地」 多様な賃貸住宅を提供

私たちは「住み心地の良さ」を第一に考えた賃貸住宅を提供しています。住む人のさまざまなライフステージにフィットするよう、それぞれの暮らし方をイメージしながら商品企画・プランニングを検討。賃貸住宅ならではのお客さまニーズに沿った、機能性の高い設備や居住空間の快適性も追求し続けています。また、街並みとしての美観形成や地域貢献など、街の資産としての調和を目指しています。シニア向け住宅、学生マンションなど、さまざまな年代の方に向けた高品質な賃貸住宅も提供しています。



20年、30年経っても揺るがない こだわりのあるデザインとプランニング

「バウスステージ南青山」は、多様な価値観と幅広いライフスタイルに合わせた多彩な住戸プランを用意するとともに、環境にも配慮している、南青山にふさわしい洗練された外観デザインの賃貸住宅です。都心の風景を一望できる屋上テラスや採光・通風を工夫したエントランス、自然素材を用いた外観デザインなど、都心にいながら自然を感じられる空間としています。



マンション管理

住む人の人生に
寄り添い
ともに歩みつづける
マンション管理



グループの総合力により お客さまの暮らしをサポート

当社グループでは分譲マンションの「製・販・管一貫体制」を構築し、企画・販売だけでなく引き渡し後の日常的な管理業務も自社で行っています。建物・設備の日常点検や管理組合運営にかかる事務業務のお手伝いなど、ご入居後も一貫したサポート体制によって、BAUSがご提供するマンションの機能と付加価値の向上を図っています。いつまでも心地よく安心して暮らすことができるよう、お客さまに寄り添い、住まいの魅力を高め続けます。



さらなる安心と快適な暮らしに向けて お客さまに寄り添った各種サービスを提供

住まいにさらなる安心と快適さを提供するため、分譲マンション「BAUS」では、お住まいのお客さまへ、暮らしに役立つ情報を発信するアプリ「BAUS Concierge(バウスコンシェル)」を導入しています。また、マンション管理組合の運営サポートとして、オンラインでの理事会開催・参加が可能なクラウドサービスを採用し、スマートな暮らしを実現します。これからも快適な生活を支える各種サービスをご提供していきます。



BAUSシリーズ

バウス西大島
〔分譲マンション〕



- 所在地／東京都江東区
- 戸数／183戸
- 竣工年／2022年

バウス上中里
〔分譲マンション〕



- 所在地／東京都北区
- 戸数／56戸
- 竣工年／2022年

バウス目白御留山
〔分譲マンション〕



- 所在地／東京都新宿区
- 戸数／34戸
- 竣工年／2020年

バウス武蔵境
〔分譲マンション〕



- 所在地／東京都武蔵野市
- 戸数／130戸
- 竣工年／2020年

バウスガーデン新百合ヶ丘
〔分譲戸建〕



- 所在地／神奈川県川崎市
- 戸数／16戸
- 竣工年／2016年

バウスガーデン西荻南
〔分譲戸建〕



- 所在地／東京都杉並区
- 戸数／7戸
- 竣工年／2019年

バウスステージ南青山
〔賃貸マンション〕



- 所在地／東京都港区
- 戸数／33戸
- 竣工年／2018年

バウスステージ広尾
〔賃貸マンション〕



- 所在地／東京都港区
- 戸数／59戸
- 竣工年／2018年

バウスステージ練馬豊玉
〔賃貸マンション〕



- 所在地／東京都練馬区
- 戸数／45戸
- 竣工年／2024年

バウスフラッツ品川大井町
〔賃貸マンション〕



- 所在地／東京都品川区二葉
- 戸数／59戸
- 竣工年／2021年2月

バウスクロス北新宿
〔学生レジデンス〕



- 所在地／東京都新宿区
- 戸数／138戸
- 竣工年／2022年

バウスクロス秋葉原
〔学生レジデンス〕



- 所在地／東京都千代田区
- 戸数／88戸
- 竣工年／2024年

高級賃貸マンション

The Manor Nishi-azabu



- 所在地／東京都港区
- 戸数／15戸
- 竣工年／2007年

Yoyogi Park Manor



- 所在地／東京都渋谷区
- 戸数／8戸
- 竣工年／2004年

シニア向け住宅

メディカルホームグランダ
鶴沼松が岡



- 所在地／神奈川県藤沢市
- 戸数／56戸
- 竣工年／2009年

グランダ下馬



- 所在地／東京都世田谷区
- 戸数／72戸
- 竣工年／2025年

海外事業



パートナーとともに
グローバルな視点で
多様なアセットを展開

— 海外投資



社会動向や
ニーズを見極め
海外プロジェクトの
開発・投資を推進

Chuo-Nittochi America Corporation
松元 裕

Chuo-Nittochi America Corporation

さらなる事業拡大を見据え
米国を中心に多様なアセットを展開

2020年に海外事業部門を立ち上げ、米国を中心に賃貸住宅やシニア向け住宅、物流施設、再生可能エネルギー設備など、さまざまな不動産事業に参画しています。現地パートナーとのさらなるネットワーク強化・拡大や、新たな事業機会の獲得に向けて、サンフランシスコに現地法人事務所を開設するなど、事業体制の強化も図っています。今後も経済成長の著しい米国を中心に海外事業を展開し、事業拡大を図ります。

海外ならではの規模とスケール感
グローバルな視点で持続可能なまちづくりへ貢献

当社グループ初の海外における開発型案件「Alexan Woodinville」は、米国・シアトル近郊で取り組む、商業施設・ホテル・スパなどを含むエリア開発の一部を構成する複合型賃貸住宅です。総戸数230戸、地上5階、地下2階建ての木造・鉄筋コンクリート混構造で、建物面積は住戸が約21,200㎡、商業施設が約2,200㎡を占める大規模なプロジェクトです。豊かな自然環境が広がる本エリアに、利便性とレクリエーションを両立した魅力的な居住環境が完成します。環境や文化・価値観だけでなく、法制度や経済成熟度なども異なるさまざまな国・エリアにおいて、グローバルな視点で社会動向やニーズを見極めながら事業を推進し、地域経済の発展や持続可能なまちづくりにも貢献していきます。



不動産ソリューション事業



REVZO虎ノ門

期待を超える提案で
信頼されるパートナーへ
企業価値向上をともに目指して

— CREコンサルティング・仲介・鑑定



中央日土地ソリューションズ
事業創造一部
高松 莉子

中央日土地ソリューションズ
鑑定部
安岡 温史

中央日土地ソリューションズ
CRE営業一部
小杉 省貴

グループ総合力による
多彩なソリューションで
企業不動産を経営の力に

企業価値向上を全面的にサポートする CRE戦略コンサルティング

私たちはCRE(企業不動産)戦略のパートナーとして、お客さまとの信頼関係を何よりも大切に、企業価値の向上をサポートしています。具体的には、すべての不動産に対して「リサーチ」「プランニング」「プラクティス」「レビュー」のPDCAサイクルを回して、全体最適の観点から不動産の運用方針立案や実行をサポートしていきます。「財務体質の改善」という課題を持つお客さまには、はじめに全国150カ所以上ある保有不動産の現状を不動産鑑定評価によって精査し、事業用資産としての価値や戦略上の位置づけを整理。さらにマーケット環境やお客さまの経営戦略などを照らし合わせたうえで、資産の入れ替えを含むCRE戦略の立案と実行をサポートしました。



お客さまの課題解決にグループ一体で取り組む 多面的なCREソリューションサービス

柔軟な発想とグループ内連携により、複数のお客さまのニーズを複合的に解決するCRE戦略もご提案しています。例えば、取引先A社さまの所有地の有効活用案件では、コロナ禍後の不動産マーケットが大きく変化中、長期安定的な賃貸ニーズとして、取引先B社さま向けの都心営業拠点の開発計画をご提案。A社さまには建物の設計監理業務を含むプロジェクト全体のマネジメントサービスを、B社さまには移転に伴う各種アドバイスやサポートをそれぞれご提供し、両社の課題解決へとつなげました。不動産の開発・運営を行う当社グループならではの総合的なサービスで、多面的なCREソリューションサービスを提供しています。



不動産に関する課題解決に向けて さまざまなソリューションメニューをご提案します

CRE戦略コンサルティング

お客様の経営戦略や不動産ポートフォリオの状況に合わせて、CRE戦略の立案から実行までを全面的にサポートします。CRE戦略支援のフロントランナーとしての豊富な経験とノウハウ、総合不動産会社ならではの多面的なソリューションで、お客様の企業価値向上をサポートします。



不動産鑑定評価

鑑定評価制度発足以前から不動産評価を業として行っていた当社グループでは、長年の経験と実績を活かし、不動産の価値を適正かつ迅速に評価します。会計制度対応、売買・交換、投資、M&Aや組織再編、相続対策など、さまざまな場面で当社グループの高品質な不動産鑑定評価が役立ちます。



不動産管理システム「CREXα」

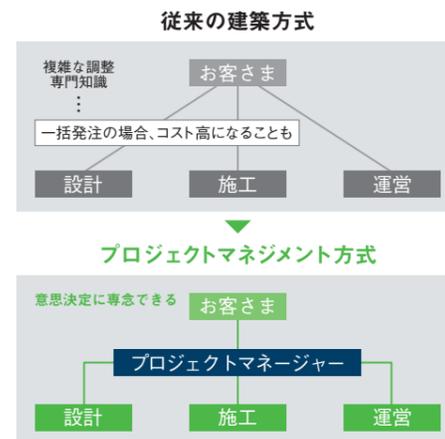
当社グループのノウハウをベースに開発したクラウド型のCRE情報のマネジメントシステムです。企業内の複数部門で管理し、属人的になりがちな不動産情報や履歴、契約書類や図面などを網羅した「台帳」を整備、不動産ポートフォリオの一元管理を手軽かつスピーディに実現します。

クラウド型CREマネジメントシステム
CREXα



プロジェクトマネジメント

私たちがプロジェクトマネージャーとなり、お客様のパートナーとして建築プロジェクトの企画、開発、実行を全面的にサポートします。プロジェクトの円滑な推進に必要な専門的な知識や各種調整も、私たちが窓口となる確にアドバイスすることで、お客様は意思決定に専念できます。



不動産仲介

不動産の売却や購入、賃貸借などのニーズに対して、約70年の実績を通じて培った知識と経験、グループの総合力を活かした多彩なソリューション、そして全国に広がる協力的ネットワークにより、不動産の最適な取引を実現します。



買取サービス

当社グループが買主となり、お客様の不動産を直接購入するサービスです。売却した不動産を引き続き利用できるセール&リースバック、低稼働物件を含む複数不動産の一括売却(バルク売却)、権利調整が必要な不動産の売却なども対応します。仲介、CRE戦略コンサルティングのノウハウを活かし、安全な不動産売却および早期資金化を支援します。



耐震診断・改修

日本は世界有数の地震大国です。お客様や建物利用者の安全確保とともに、BCP(事業継続計画)の観点からも耐震診断をお勧めしています。また、耐震診断実施後の耐震改修工事の企画、設計、工事までトータルソリューションを提供します。



オフィス移転

当社グループの保有物件をはじめ、豊富な情報ネットワークで収集した物件のなかから、最適な不動産をご紹介します。最新鋭の設備を整えた大規模オフィスビルから、シェアオフィスまで、お客様のご要望にあわせて移転プロジェクトをサポートします。

設計・施工・リニューアル

総合不動産グループとして蓄積したノウハウを活かし、オフィス、住宅、倉庫、工場、店舗、ホテル、ヘルスケア施設など、さまざまなアセットタイプに対応するとともに、事業企画、設計・監理、新築工事、修繕・リニューアル工事、解体工事、アフターサービスまで、お客様のあらゆるニーズにお応えします。



資産運用

当社グループでは非上場・オープンエンド型私募リート運用と私募ファンドの組成・運用を行っています。不動産投資商品および不動産と金融のノウハウを高次元で融合させたソリューションの提供により、お客様の財務戦略をサポートします。

資産運用事業



堅実・良質・安全な
資産運用を
投資家の皆さまの信頼と
期待に応えるために

— 資産運用



中央日土地アセットマネジメント
投資情報部
星野 友輝

中央日土地アセットマネジメント
投資運用第二部
奥井 琢己

私募リートや
私募ファンドを通じた
魅力的な投資機会の提供

中央日土地プライベートリート投資法人 Chuo Nittochi

深化する投資家ニーズを捉え
中長期的に安定した運用ニーズに応えていく

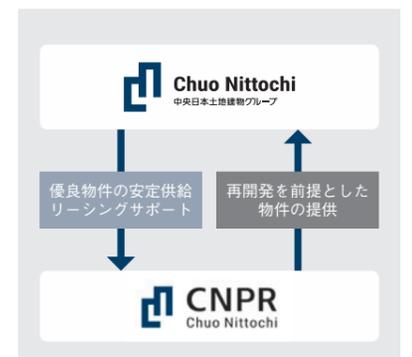
不動産証券化の黎明期である2000年に組成した第一号証券化を皮切りに、数々の私募ファンドを組成し、2015年には機関投資家向けの非上場・オープンエンド型の私募リート「中央日土地プライベートリート投資法人(CNPR)」の運用を開始しました。投資家の皆さまのご意見を踏まえ、新規ファンドの組成やファンド・リートの運営に活かすことで、さらなる運用実績の向上へつなげています。グループ総合力を基盤に、不動産と金融のノウハウを高次元で融合させて、投資家の皆さまのニーズに合致した不動産投資商品と最大限のパフォーマンスを提供していきます。

透明性・信頼性の向上とともにESGや脱炭素への取り組みを推進

運用資産の環境性能やレジリエンスに関する透明性・信頼性を高めながら、ESGへの取り組みを推進するため「DBJ Green Building認証」「CASBEE不動産評価認証」「BELS認証」など外部評価・認証の取得を積極的に進めています。また、CNPRは不動産会社・運用機関のESG配慮を測るベンチマーク評価であるGRESリアルエステイト評価においてGreen Starを取得、GRESレーティングは「3star」と評価されました。CNPRが運用する不動産におけるScope1・2の温室効果ガス排出量を2030年度までに42%削減(2021年度比)する目標を設定し、認定機関「SBTイニシアチブ^{*1}」によるSBT認定^{*2}を受け、脱炭素に向けた取り組みを進めています。

^{*1} 気候変動対策に関する情報開示を推進する機関投資家の連合体であるCDP、世界資源研究所(WRI)と世界自然保護基金(WWF)、国連グローバル・コンパクト(UNGC)によって2014年9月に設立された共同イニシアチブ。科学的根拠に基づく温室効果ガス排出量削減目標を設定することを支援・認定する。
^{*2} パリ協定(世界の気温上昇を産業革命前より2℃を十分に下回る水準に抑え、また1.5℃に抑えることを目指すもの)が求める水準と整合した、5年～15年先を目標年として企業が設定する温室効果ガス排出削減目標。

スポンサー・サポート





目土地ビル

総合不動産グループとして培った
専門性と技術力による
高品質な施工・サービス

— 耐震診断・修繕工事



安全・品質を第一に
お客さまに寄り添い
最適な施工プランを提案

中央日土地ファシリティーズ
建築第一部
三好 寛

「安全・品質・お客さま満足度向上」を基盤とした 幅広い施工・サービスの提供

建設事業の中核は、建物の機能を回復・向上させる修繕・リニューアル工事で、年間の工事実績は約1,000件超にのぼります。テナントさまからの入退去工事や専有部工事のご要望だけでなく、物件のオーナーさまからの工事や耐震診断、設計、補強工事や設備メンテナンスのご要望にも対応しています。専門性が高く経験豊富な社員が、安全・品質を第一に、日々変化する技術動向や各種法令なども踏まえながら、お客さまに寄り添った最適な施工プランを提案しています。



グループ総合力を活かし 付加価値の高いオフィスリニューアルを実現

私たちの強みは、長年の工事実績・確かな技術力と、グループ連携を活かした工事計画の立案・推進です。衣料品メーカーさまのオフィスリニューアル工事では「商品企画により一層適したオフィスを」という相談を受け、プロジェクトマネジメントを担う中央日土地ソリューションズとともに、生産性を高めコミュニケーションを促すレイアウトを企画・提案しました。中央日土地ファシリティーズは工事の全体統括のほか、内装工事や什器備品の設置工事などを担当。グループの総合力による相乗効果を発揮し、細やかで付加価値の高いサービス・技術の提供を実現しました。



ゴルフ事業



レイクウッドゴルフクラブ

自然と調和した豊かな環境と
上質なサービスを通して
感動のひとときを提供

— ゴルフ場運営



レイクウッドコーポレーション
レイクウッドゴルフクラブ 支配人
横山 茂樹

レイクウッドコーポレーション
レイクウッドゴルフクラブ フロント営業室
笹子 七海

最高のおもてなしで
ここにしかない感動を
お客さまに

自然との調和と戦略性を楽しむ3つのゴルフコースで
体験する自然と感動のひととき

テオドール・G・ロビンソン氏の設計による日本初のアメリカンスタイルのコース「レイクウッドゴルフクラブ」、自然の地形を活かした戦略性のあるコースを楽しめる「平塚富士見カントリークラブ」、そして南アルプス甲斐駒ヶ岳を背景に自然との一体感のなかプレーができる「レイクウッドゴルフクラブサンパーク明野コース」を運営しています。自然豊かな環境と最適なサービスで、接待から競技会まで、多くのゴルファーに親しまれています。

スタッフが連携してお届けする
感動とおもてなし

私たちは「最高のおもてなしで、ここにしかない感動をお客さまに。」というビジョンを実現するため、スタッフ全員がコースの品質と提供サービスの向上に努めています。例えばグリーンキーパーは「あらゆるゴルファーに楽しんでもらいたい」という想いから、天候やコース環境を分析し、初心者から上級者までラウンドを楽しめるよう配慮しています。またレストラン「湖畔亭」では、四季折々の料理と心地よいサービスを提供し、リラックスして食事を楽しんでいただけるよう努めています。各部門のスタッフが連携してお客さまの満足を追求し、細部にまでこだわったホスピタリティの実現により、充実した時間を提供しています。

